

■神戸港港湾審議会 第 42 回環境整備負担金部会 議事要旨

1. 日 時：令和 5 年 1 月 23 日（月）14：00～14：30
2. 場 所：神戸市役所 1 号館 28 階 神戸市会第 4 委員会室
3. 出席委員：伊藤 秀和 部会長（リモート参加）
齊藤 由里恵 委員（リモート参加）
黒田 武志 委員（リモート参加）
大かわら 鈴子 委員
吉井 満隆 委員
長田 庄太郎 委員（リモート参加）
久保 昌三 委員 代理：稲田 重彦 氏
若松 康裕 委員 代理：小野塚 勉 氏
田淵 一浩 委員 代理：馬谷 正樹 氏（リモート参加）
出席委員 9 名（うち代理 3 名）
4. 市側出席：小沢副局長、綱岡経営企画課担当課長、河原海岸防災課長
（渡邊担当係長、奥田、池田）
5. 議事次第
 - ① 開会…14：00
 - ② 委員の出席状況報告…委員 11 名のうち 9 名が出席しており、「神戸港港湾審議会条例」第 6 条第 2 項に定める定足数を満たしていることを確認した。
 - ③ 委員の紹介
 - ④ 審議…令和 4 年度港湾環境整備負担金に関する負担対象工事の指定について
 - ⑤ 質疑応答

（委 員）環境整備負担金の平米当たりの単価は、6 円から 7 円程度で推移しているようだが、この金額に根拠はあるのか。

（事務局）環境整備負担金の単価の数値については、基本的には負担の平準化、激変緩和という趣旨でご提案させていただいており、数値について直接の根拠はない。

（委 員）2 号工事、4 号工事の費用について、人件費、燃料費等の高騰もあって増嵩しているとの話があった。基本的には 2 号工事、4 号工事の負担割合は固定しているとのことだが、今後、更なる経費の高騰が続くと市の負担も大きくなっていくのではないかと。そのあたりは何か市としての考えはあるか。

（事務局）人件費、燃料費等の高騰については、長期的には勘案する必要があると思うが、現状ではここ数年の負担金の水準を考慮し、今回のご提案内容となっている。

（部会長）過去 10 年の年度別負担割合の推移を見ると、当初 2 分の 1 だったものが、負担の増加に伴って負担割合を少なくしてきたという経過があり、なるべく事業者の負担が変わらないようにしてきたという理解ができると思う。今後、工事費用が更に増加する等の状況の変化があれば、負担の在り方について検討が必要になるのではないかとと思う。
 - ⑥ 議決…異議なく原案通り承認することに決定した。
 - ⑦ 閉会…14：30